

令和 4 年度

二級水系流域治水協議会

県管理河川大規模氾濫に関する減災対策協議会

4 減災対策協議会 概ね 5 年間の取組について

## 概ね5年間(R4～R8)で実施する取組

具体的な取組の柱		伊万里市										有田町										佐賀地方気象台													
事項	具体的な取組項目	実施内容	実施時期	実施年度					実施時期	R4実施内容	R5実施内容(計画)	実施年度					実施時期	R4実施内容	R5実施内容(計画)	実施年度															
				R4	R5	R6	R7	R8				R4	R5	R6	R7	R8				R4	R5	R6	R7	R8											
				予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施										
1. ハード対策																																			
■避難行動、水防活動、排水活動等に資する施設等の整備																																			
	① 円滑な避難に資するための避難所案内看板の設置	避難所案内看板の設置	H28、H29年度に実施	新たに必要となれば対応。	新たに必要となれば対応。												H28年度から順次実施	案内看板の設置が必要な避難所を決定する。 (R5避難所案内看板を設置)	避難所案内看板の設置が必要な避難所を決定し、案内看板を設置する。			○	×	○											
	② 住民にわかりやすく水位情報を示すための水位レベル表示(量水標)の設置	住民の目につきやすい橋梁の橋脚などに、河川水位の高さレベルを用いた水位情報標識の設置																																	
	③ 住民にわかりやすく水位情報を示すための距離標の設置	住民の目につきやすい河川の堤防に、河口からの距離、海抜を表示した距離標の設置																																	
2. ソフト対策																																			
① 水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組																																			
【水害リスク情報の共有】																																			
	① 水害リスク情報を共有できるハザードマップへの改良と周知及び活用推進	ハザードマップの改良と周知	R4年度から順次実施	自治会が主体となって作成された「わがまち・わが家の防災マップ」の見直し作業を行い、改めて全戸配布する。また、マップを活用した避難訓練を実施し、マップの活用と改良及び周知を図る。	「わがまち・わが家の防災マップ」を活用した避難訓練を実施し、マップの活用と改良及び周知を図る。												H28年度から順次実施	(R6ハザードマップ改訂)	(R6ハザードマップ改訂)			-	-	-											
	② 水位周知河川以外の1級河川、2級河川を対象とした想定し得る最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図等の公表	水位周知河川以外の1級河川、2級河川の洪水浸水想定区域図作成																																	
【防災意識の啓発】																																			
	③ 防災意識向上と迅速な避難に役立つマイ防災マップづくりと配布	マイ防災マップの整備	H26に実施済															継続実施	改訂版ハザードマップに書き込むページがあり、その周知を行う	改訂版ハザードマップに書き込むページがあり、その周知を行う			○	○	○										
	④ 防災意識向上と迅速な避難に役立つまごまちごとハザードマップ整備	まごまちごとハザードマップ整備	H23に大川町留地区で実施済															継続実施	当面は、まごまちごとハザードマップの作成については、見送る予定。						-	-	-								
	⑤ 水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の実施	継続実施	希望する団体に対して出前講座を実施する。	希望する団体に対して出前講座を実施する。					○	○	○					継続実施	地区での避難訓練等の際に出向き、住民の防災意識啓発に努める。	地区での避難訓練等の際に出向き、住民の防災意識啓発に努める。			○	○	○			継続実施	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の実施	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の実施			○	○	○	
	⑥ あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実	Webサイトなどあらゆる媒体を活用し雨量、水位及び地域住民の水防災意識啓発に資する情報の提供	継続実施	市広報紙、市ホームページにより情報提供を行う。	市広報紙、市ホームページにより情報提供を行う。				○	○	○						継続実施	広報誌や回覧、HP等の内容の充実を図り、住民の水防災意識の啓発に資する。	広報誌や回覧、HP等の内容の充実を図り、住民の水防災意識の啓発に資する。			○	○	○		継続実施	Webサイトをj活用し、水防災意識啓発に資するe-ラーニング・パンフレット・リーフレットを提供 ・キキクル(危険度分布)広報アニメを作成し、市報などを通して住民への広報を実施	Webサイトをj活用し、水防災意識啓発に資するe-ラーニング・パンフレット・リーフレットを提供			○	○	○		
【リアルタイム防災情報の共有】																																			
	⑦ 防災気象情報の改善	縦状降水予報情報の提供を始めとする各種防災気象情報の改善																継続実施	・防災気象情報を国民に提供する気象庁ホームページを強化し、災害時のアクセス集中時にも防災気象情報を確実に提供できるようにする。 ・平日前から縦状降水情報による大雨に伴う危険性を国民向けに呼びかける情報を縦状広報で提供。 ・洪水キキクルに水害リスクラインを統合表示	現在実況で発表している縦状降水情報の発生情報を予測でも提供(早いときで30分前から)			○	○	○										
【避難指示等の発令】																																			
	⑧ 避難に着目した簡易版タイムラインの作成	市・町で作成している避難指示に着目したタイムラインの作成・検証、及び精度向上に参画	H29年度から順次実施	タイムラインの作成(修正)を行う。	タイムラインの作成(修正)を行う。				○	○	○						H29年度から順次実施	簡易的なタイムラインを作成する。	他市町を参考にタイムラインの作成に努める。			○	○	○											
【住民等への防災情報の周知】																																			
	⑨ 防災情報総合サイトの活用と周知	防災情報総合サイトの活用と周知																																	
	⑩ 様々な防災情報提供ツールを用いた防災情報伝達の強化(多重的)	防災情報伝達(内容)の強化(多重的)	R4までに実施済															継続実施	より多くの住民に必要な情報を伝達できるよう伝達手段の多様化を図る。	より多くの住民に必要な情報を伝達できるよう伝達手段の多様化を図る。			○	×	○										
【避難行動に繋がる訓練】																																			
	⑪ 避難に着目した簡易版タイムラインに基づく実践的な訓練	市・町のタイムライン作成の及び訓練への支援																																	
	⑫ 要配慮者利用施設等との避難訓練の促進	要配慮者利用施設等の避難訓練の作成及び訓練の実施への支援																	H28年度から順次実施	健康福祉課を含めた連絡体制を構築し、訓練の実施についても支援していく。	健康福祉課を含めた連絡体制についても支援していく。			○	○	○									
	⑬ 水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施、及びその支援	水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施、及びその支援	H28年度から順次実施	自治会が主体となって実施する防災訓練を実施する。	自治会が主体となって実施する防災訓練を実施する。				○	○	○						H28年度から順次実施	危険箇所については、区長より情報提供していただき、毎年出水期前に関係機関と合同で住民立会のもと、防災パトロールを実施。訓練についても支援していく。	危険箇所については、区長より情報提供していただき、毎年出水期前に関係機関と合同で住民立会のもと、防災パトロールを実施。訓練についても支援していく。			○	○	○											

具体的な取組の柱		伊万里市						有田町						佐賀地方気象台																	
事項	具体的な取組項目	実施内容	実施時期	実施年度						実施時期	R4実施内容	R5実施内容(計画)	実施年度						実施時期	R4実施内容	R5実施内容(計画)	実施年度									
				R4	R5	R6	R7	R8	R4				R5	R6	R7	R8	R4	R5				R6	R7	R8							
				予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施				予定	実施	予定	実施	予定	実施				予定	実施	予定	実施	予定	実施		
【河川監視情報の共有】																															
①	重要水防箇所の共同点検	県管理河川の重要水防区間のうち、危険箇所を抽出し、地域住民代表を交え、出水期までに共同点検(合同巡視)を実施	継続実施									継続実施	危険箇所については、区長より情報提供していただき、毎年出水期前に関係機関と合同で住民委員会のもと、防災パトロールを実施。	危険箇所については、区長より情報提供していただき、毎年出水期前に関係機関と合同で住民委員会のもと、防災パトロールを実施。																	
② 地域住民・市民団体・関係機関の連携・協働による地域の将来を担う人材の教育・発掘に向けた取組																															
【避難場所や避難経路の確保】																															
①	浸水や土砂災害による途絶を考慮した避難経路や避難場所の確保に向けた連携・協働の取組	土砂災害の危険に配慮した避難経路や避難場所の見直し及び避難計画の策定、及びその支援	H28年度から順次実施										H28年度から順次実施 「わがまち・わが家の防災マップ」を活用した避難訓練を実施し、マップの活用と改良及び周知を図る。	H28年度から順次実施 「わがまち・わが家の防災マップ」を活用した避難訓練を実施し、マップの活用と改良及び周知を図る。																	
②	避難所・避難経路の安全性確認及び見直し	避難所・避難経路の安全性の確認	H28年度から順次実施										H28年度から順次実施 「わがまち・わが家の防災マップ」を活用した避難訓練を実施し、マップの活用と改良及び周知を図る。	H28年度から順次実施 「わがまち・わが家の防災マップ」を活用した避難訓練を実施し、マップの活用と改良及び周知を図る。																	
③	浸水や土砂災害による途絶を考慮した基幹避難所等における備蓄の強化	民間事業者等と災害情報の収集、食料、資機材の供給、物資輸送等に関する協定を締結し、災害対応の強化	継続実施									継続実施	県の協定も活用する事を検討し、発災時初期動員に即時必要となる資機材を洗い出し、必要に応じて協定締結する。備蓄物資についても分散して確保	県の協定も活用する事を検討し、発災時初期動員に即時必要となる資機材を洗い出し、必要に応じて協定締結する。備蓄物資についても分散して確保																	
④	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進及び訓練の実施への支援	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援										H28年度から順次実施	健康福祉課を含めた連絡体制を構築し、訓練の実施についても支援していく。	健康福祉課を含めた連絡体制を構築し、訓練の実施についても支援していく。																	
【長期浸水リスクの周知】																															
⑤	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大(再掲)	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度から順次実施									H28年度から順次実施	地区や学校等の要望に応じ、防災教育を充実する。	地区や学校等の要望に応じ、防災教育を充実する。																	
⑥	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実(再掲)	Webサイトなどあらゆる媒体を活用し雨量、水位及び地域住民の水防災意識啓発に資する情報の提供	継続実施									継続実施	広報誌や回覧、HP等の内容の充実を図り、住民の水防災意識の啓発に資する。	広報誌や回覧、HP等の内容の充実を図り、住民の水防災意識の啓発に資する。																	
【水防活動等】																															
⑦	関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	自主防災組織、消防団、県地域防災リーダーを対象とした研修会の実施、及びその支援	H29年度から順次実施									H29年度から順次実施	自主防災組織、消防団、県地域防災リーダーを対象とした研修会を開催し、連携を図る。	自主防災組織、消防団、県地域防災リーダーを対象とした研修会を開催し、連携を図る。																	
⑧	自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成・強化、河川協力団体との連携	自主防災組織、消防団、県地域防災リーダーを対象とした研修会の実施	継続実施									継続実施	自主防災組織、消防団、防災リーダーが参加する防災講演会を開催。	自主防災組織、消防団、防災リーダーが参加する防災講演会を開催。																	
③ 洪水被害軽減のための取組と既存施設運用の工夫等の取組																															
【既存施設活用等】																															
①	洪水被害軽減のための既存ダム洪水調節機能強化の取組	ダム事前放流の実施																													
【水防資機材等】																															
②	水防資機材の保有状況の確認、見直し	水防資機材の保有状況の確認	継続実施									継続実施	消防団や工務担当と連携し、必要な水防資機材の確保に努める。	消防団や工務担当と連携し、必要な水防資機材の確保に努める。																	

資料一〇

概ね5年間で実施する取組

具体的な取組の柱		危機管理防災課										河川砂防課										ダム管理事務所															
事項	具体的な取組項目	実施内容	実施時期	R4実施内容					R5実施内容(計画)					実施時期	R4実施内容					R5実施内容(計画)					実施時期	R4実施内容					R5実施内容(計画)						
				R4	R5	R6	R7	R8	R4	R5	R6	R7	R8		R4	R5	R6	R7	R8	R4	R5	R6	R7	R8		R4	R5	R6	R7	R8							
1. ハード対策																																					
■避難行動、水防活動、排水活動等に資する基盤等の整備																																					
①	円滑な避難に資するための避難所案内看板の設置	避難所案内看板の設置																																			
②	住民にわかりやすく水位情報を示すための水位レベル表示(量水標)の設置	住民の目につきやすい橋梁の橋脚などに、河川水位の高さレベルを用いた水位情報標識の設置																																			
③	住民にわかりやすく水位情報を示すための距離標の設置	住民の目につきやすい河川の堤防に、河口からの距離、海抜を表示した距離標の設置																																			
2. ソフト対策																																					
① 水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組																																					
【水害リスク情報の共有】																																					
①	水害リスク情報を共有できるハザードマップへの改良と周知及び活用の推進	ハザードマップの改良と周知																																			
②	水位周知河川以外の1級河川、2級河川を対象とした想定し得る最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図等の公表	水位周知河川以外の1級河川、2級河川の洪水浸水想定区域図作成																																			
【防災意識の啓発】																																					
③	防災意識向上と迅速な避難に役立つマイ防災マップづくりと拡充	マイ防災マップの整備																																			
④	防災意識向上と迅速な避難に役立つまるとまちごとハザードマップ整備	まるとまちごとハザードマップ整備																																			
⑤	水防教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大	水防教育、出前講座等を活用した講習会の実施	継続実施	市町、各種団体等からの要請に応じ随時実施	市町、各種団体等からの要請に応じ随時実施																																
⑥	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広範な発表	Webサイトなどあらゆる媒体を活用し雨量、水位及び地域住民の水防災意識啓発に資する情報の提供	継続実施	地域住民の水防災啓発に資する情報の提供	地域住民の水防災啓発に資する情報の提供																																
【リアルタイム防災情報の共有】																																					
⑦	防災気象情報の改善	縦横断水害予測情報の提供を始めとする各種防災気象情報の改善																																			
【避難指示等の発令】																																					
⑧	避難に着目した簡易版タイムラインの作成	市・町で作成している避難指示に着目したタイムラインの作成・検証、及び精度向上に参画	H29から順次実施	市町のタイムライン作成の支援	市町のタイムライン作成の支援																																
【住民等への防災情報の周知】																																					
⑨	防災情報総合サイトの活用と周知	防災情報総合サイトの活用と周知																																			
⑩	様々な防災情報提供ツールを用いた防災情報伝達の強化(多重化)	あらゆるメールや防災・被災さが等防災情報伝達(内容)の強化(多重化)	継続実施	既存システムの内容充実とタブレット型情報伝達内容の強化	既存システムの内容充実とタブレット型情報伝達内容の強化																																
【避難行動に繋がる訓練】																																					
⑪	避難に着目した簡易版タイムラインに基づく実践的訓練	市・町のタイムライン作成の及び訓練への支援	H29から順次実施	市町が実施するタイムラインに基づく訓練への支援	市町が実施するタイムラインに基づく訓練への支援																																
⑫	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	H28から順次実施	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援																																
⑬	水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施、及びその支援	水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施、及びその支援	H28から順次実施	地域住民が参加する共同点検や避難訓練への支援	地域住民が参加する共同点検や避難訓練への支援																																



資料一〇

概ね5年間 (R4～R8) で実施する取組

具体的な取組の柱		伊万里土木事務所		実施年度					R4年度以降の実施予定(案) (継続、完了、新規、削除)													
				R4	R5	R6	R7	R8														
				予定	実施	予定	実施	予定		実施												
事項	具体的な取組項目	実施内容	実施時期	R4実施内容	R5実施内容(計画)																	
1. ハード対策																						
■避難行動、水防活動、排水活動等に資する基盤等の整備																						
①	円滑な避難に資するための避難所案内看板の設置	避難所案内看板の設置																継続	市町対象			
②	住民にわかりやすく水位情報を示すための水位レベル表示(量水標)の設置	住民の目につきやすい橋梁の橋脚などに、河川水位の高麗度レベルを用いた水位情報標識の設置	H28年度から順次実施	水防管理者と意見交換を行い、住民の目につき箇所への量水標設置について検討を行う	水防管理者と意見交換を行い、住民の目につき箇所への量水標設置について検討を行う														継続	県対象		
③	住民にわかりやすく水位情報を示すための距離標の設置	住民の目につきやすい河川の堤防に、河口からの距離、海拔を表示した距離標の設置																		完了	県対象	
2. ソフト対策																						
① 水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組																						
【水害リスク情報の共有】																						
①	水害リスク情報を共有できるハザードマップへの改良と周知及び活用の推進	ハザードマップの改良と周知																		継続	市町対象	
②	水位周知河川以外の1級河川、2級河川を対象とした想定し得る最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図等の公表	水位周知河川以外の1級河川、2級河川の洪水浸水想定区域図作成	H28年度から順次実施	波多津川、立川、脇野川、桶久川ほか浸水想定区域図の策定に着手	波多津川、立川、脇野川、桶久川ほか浸水想定区域図の策定に着手															継続	県対象	
【防災意識の啓発】																						
③	防災意識向上と迅速な避難に役立つマイ防災マップづくりと拡充	マイ防災マップの整備																			継続	市町
④	防災意識向上と迅速な避難に役立つまるごとまちごとハザードマップ整備	まるごとまちごとハザードマップ整備																			完了	市町
⑤	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の実施	継続実施	各種団体等からの要請に応じ随時実施	各種団体等からの要請に応じ随時実施															継続	全機関	
⑥	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実	Webサイトなどあらゆる媒体を活用し雨量、水位及び地域住民の水防災意識啓発に資する情報の提供																			継続	全機関
【リアルタイム防災情報の共有】																						
⑦	防災気象情報の改善	縦状降水予報情報の提供を始めとする各種防災気象情報の改善																			新規	気象台
【避難指示等の発令】																						
⑧	避難に着目した簡易版タイムラインの作成	市・町で作成している避難指示に着目したタイムラインの作成・検証、及び精度向上に参画	H29年度から順次実施	必要に応じ、市町の(水害)タイムライン作成支援	必要に応じ、市町の(水害)タイムライン作成支援															継続	市町：作成 県：支援	
【住民等への防災情報の周知】																						
⑨	防災情報総合サイトの活用と周知	防災情報総合サイトの活用と周知																			継続	全機関
⑩	様々な防災情報提供ツールを用いた防災情報伝達の強化(多重化)	多様な防災情報伝達(内容)の強化(多重化)																			継続	全機関
【避難行動に繋がる訓練】																						
⑪	避難に着目した簡易版タイムラインに基づく実践的訓練	市・町のタイムライン作成の及び訓練への支援	H29年度から	市町が実施するタイムラインに基づく訓練への支援	市町が実施するタイムラインに基づく訓練への支援																継続	市町：主体 県：支援
⑫	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	H28年度から順次実施	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援																継続	市町：主体 県：支援
⑬	水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施	水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施、及びその支援	H28年度から順次実施	共同点検の実施や避難訓練への支援	共同点検の実施や避難訓練への支援																継続	全機関

具体的な取組の柱		伊万里土木事務所			実施年度								R4年度以降の実施予定(案) (継続、完了、新規、削除)					
事項	実施内容	実施時期	R4実施内容	R5実施内容(計画)	R4	R5	R6	R7	R8									
具体的な取組項目					予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施						
【河川監視情報の共有】																		
①	重要水防箇所の共同点検	県管理河川の重要水防区間のうち、危険箇所を抽出し、地域住民代表を交え、出水期までに共同点検(合同巡視)を実施	継続実施	県管理河川の重要水防区間内の危険箇所を抽出し合同点検の実施	県管理河川の重要水防区間内の危険箇所を抽出し合同点検の実施	○	○	○							継続	全機関		
② 地域住民・市民団体・関係機関の連携・協働による地域の将来を担う人材の教育・発掘に向け																		
【避難場所や避難経路の確保】																		
①	浸水や土砂災害による途絶を考慮した避難経路や避難場所の確保に向けた連携・協働の取組	土砂災害の危険に配慮した避難経路や避難場所の見直し及び避難計画の策定、及びその支援	H28年度から順次実施	避難経路や避難場所の見直し及び避難計画作成への支援	避難経路や避難場所の見直し及び避難計画作成への支援	○	—	○								継続	市町；主体 県；支援	
②	避難所・避難経路の安全性確認及び見直し	避難所・避難経路の安全性の確認														継続	市町	
③	浸水や土砂災害による途絶を考慮した基幹避難所等における備蓄の強化	民間事業者等と災害情報の収集、食料、資機材の供給、物資輸送等に關する協定を締結し、災害対応の強化														継続	市町	
④	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進(再掲)	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	H28年度から順次実施	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	○	—	○								継続	市町；主体 県；支援	
【長期浸水リスクの周知】																		
⑤	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大(再掲)	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の実施	継続実施	各種団体等からの要請に応じ随時実施	各種団体等からの要請に応じ随時実施	○	—	○								継続	全機関	
⑥	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実(再掲)	Webサイトなどあらゆる媒体を活用し雨量、水位及び地域住民の水防災意識啓発に資する情報の提供															継続	全機関
【水防活動等】																		
⑦	関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	自主防災組織、消防団、県地域防災リーダーを対象とした研修会の実施、及びその支援	H29年度から順次実施	右田川、伊万里川、新田川の全周知河川でホットラインの運用	右田川、伊万里川、新田川の全周知河川でホットラインの運用	○	○	○								継続	全機関	
⑧	自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成・強化、河川協力団体との連携	自主防災組織、消防団、県地域防災リーダーを対象とした研修会の実施															継続	市町
③ 洪水被害軽減のための取組と既存施設運用の工夫等の取組																		
【既存施設運用等】																		
①	洪水被害軽減のための既存ダム洪水調節機強化の取組	ダム事前放流の実施														継続	ダム事務所	
【水防資機材等】																		
②	水防資機材の保有状況の確認、見直し	水防資機材の保有状況の確認	継続実施	保有状況の確認	保有状況の確認	○	○	○								継続	県、市町	